

資料編

1. アンケート調査の結果（抜粋）

◆ 調査概要

1 調査方法

区分	一般市民	高校生	中学生	小学生	小学2年生 保護者	幼稚園・保 育園の保護 者
調査客体	住民基本台 帳より 2,000 名を 無作為抽出	市内2高 等学校2 年生・計 394 名	市内8中 学校2年 生・計 400 名	市内5小 学5年生 ・計 424 名	市内5小 学2年生 児童の 保護者・計 437 名	市内4園 の保護者・計 396 名
調査票の 配布・回収	郵送配布・郵送回収及び各園・各学校で配布・回収					
調査 基準日	平成 28 年 10 月 1 日					
調査期間	平成 28 年 10 月 27 日（一般：発送日） ～平成 28 年 11 月 18 日（一般：18 日締め、各園・各学校：17 日締め）					

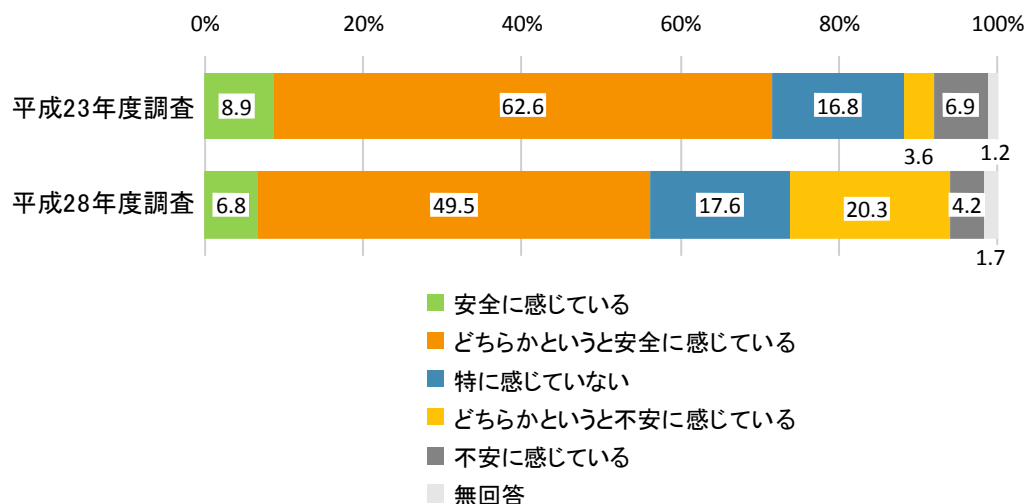
2 回収状況

区分	一般市民	高校生	中学生	小学生	小学2年 生保護者	幼稚園・保 育園保護者	合 計
配布数（A）	2,000	394	400	424	437	396	4,051
回収件数（B）	859	394	386	414	372	282	2,712
回収率（B／A）	43.0%	100.0%	96.5%	97.6%	85.1%	71.2%	66.9%

※回収件数は無効票を除いています。

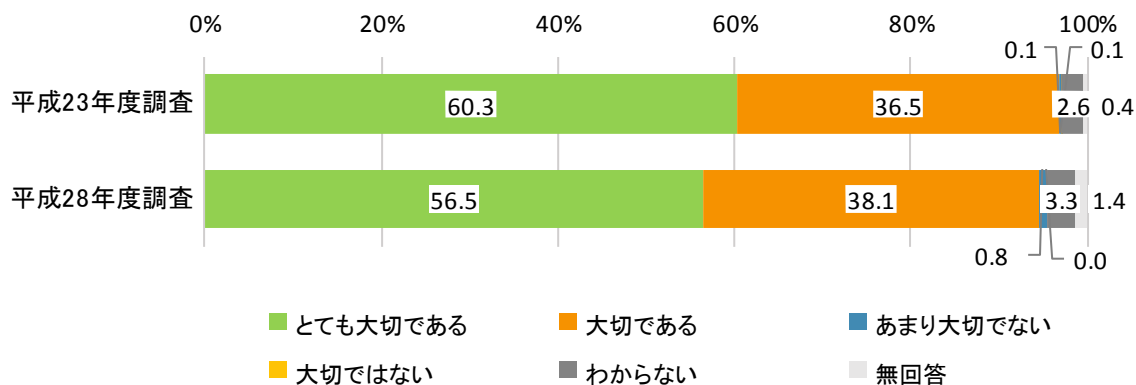
◆ 食の安全性について

食の安全性について、平成28年度食育アンケート調査では「安全に感じている」と「どちらかという安全に感じている」をあわせた“安全に感じている”の割合が56.3%、「特に感じていない」が17.6%、「どちらかという不安に感じている」と「不安に感じている」をあわせた“不安に感じている”の割合が24.5%となっています。平成23年度と比較すると“安全に感じている”が15.2ポイント低くなっています。



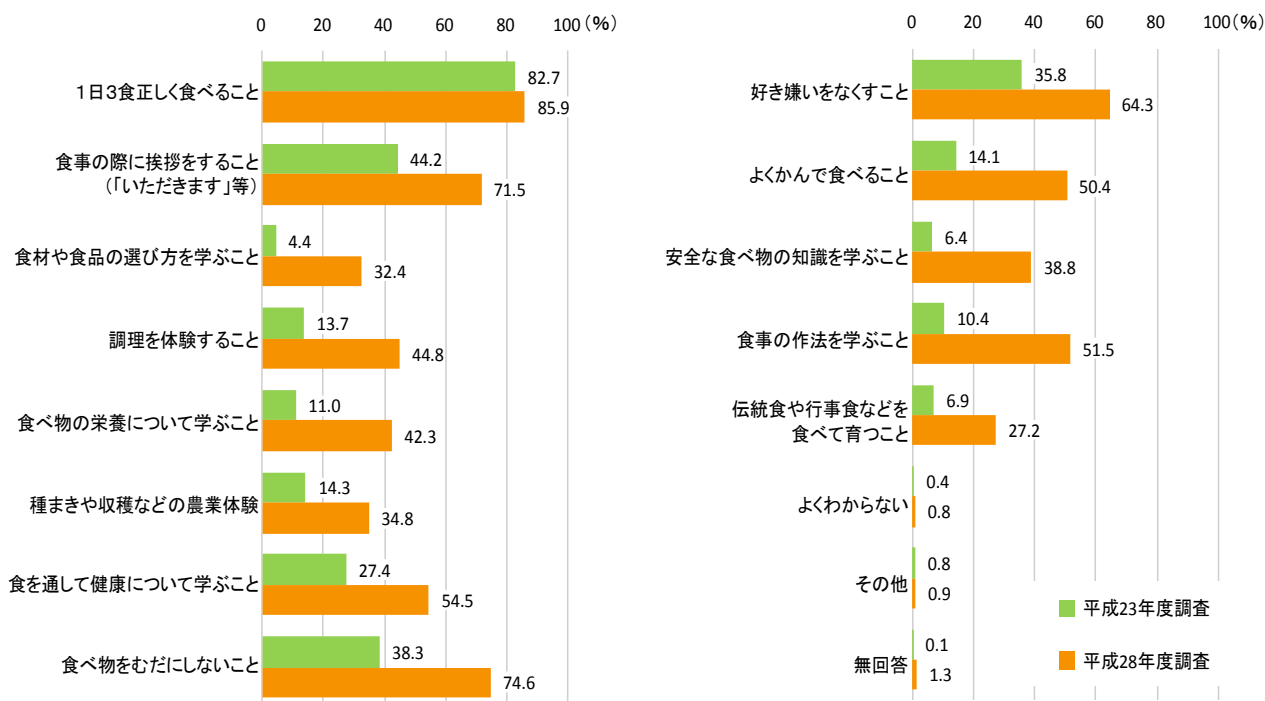
◆ 食育の重要性

子どもへの食育の重要性について、平成28年度食育アンケート調査では「とても大切である」と「大切である」をあわせた“大切である”の割合が94.6%、「あまり大切でない」と「大切ではない」をあわせた“大切ではない”の割合が0.8%となっています。



◆ 子どもへの食育の内容について

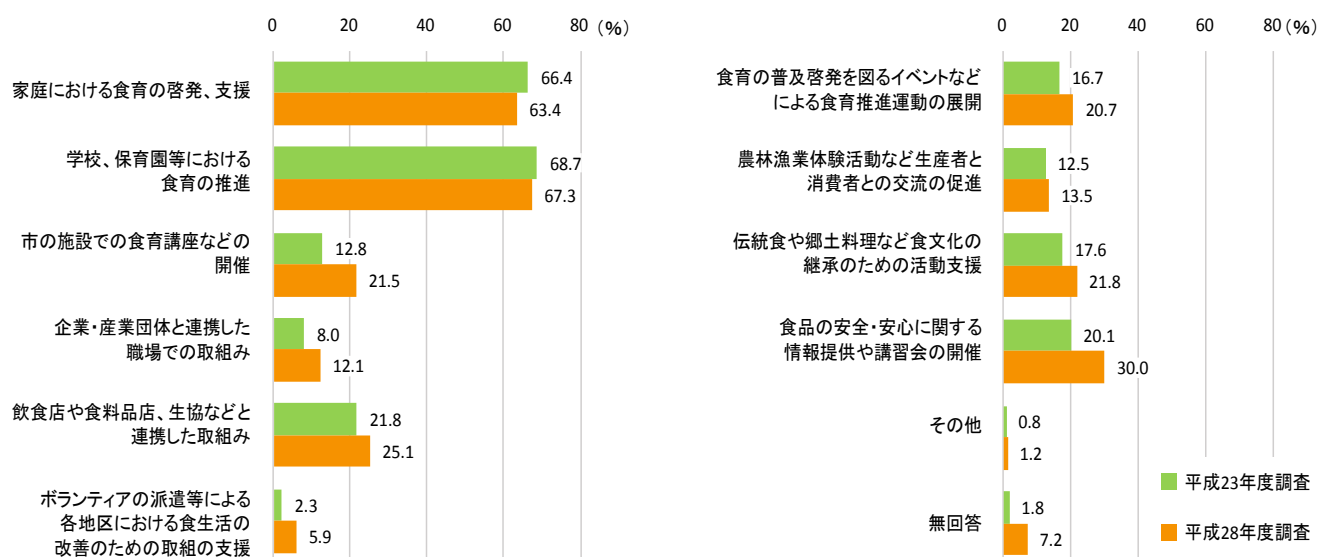
子どもへの食育の内容について、平成28年度食育アンケート調査では「1日3食正しく食べること」の割合が85.9%と最も高く、次いで「食べ物をむだにしないこと」の割合が74.6%、「食事の際に挨拶をすること（「いただきます」など）」の割合が71.5%となっています。



◆ 安城市の食育施策

子どもへの食育の内容について、平成28年度食育アンケート調査では「学校、保育園等における食育の推進」の割合が67.3%と最も高く、次いで「家庭における食育の啓発、支援」の割合が63.4%、「食品の安全・安心に関する情報提供や講習会の開催」の割合が30.0%となっています。

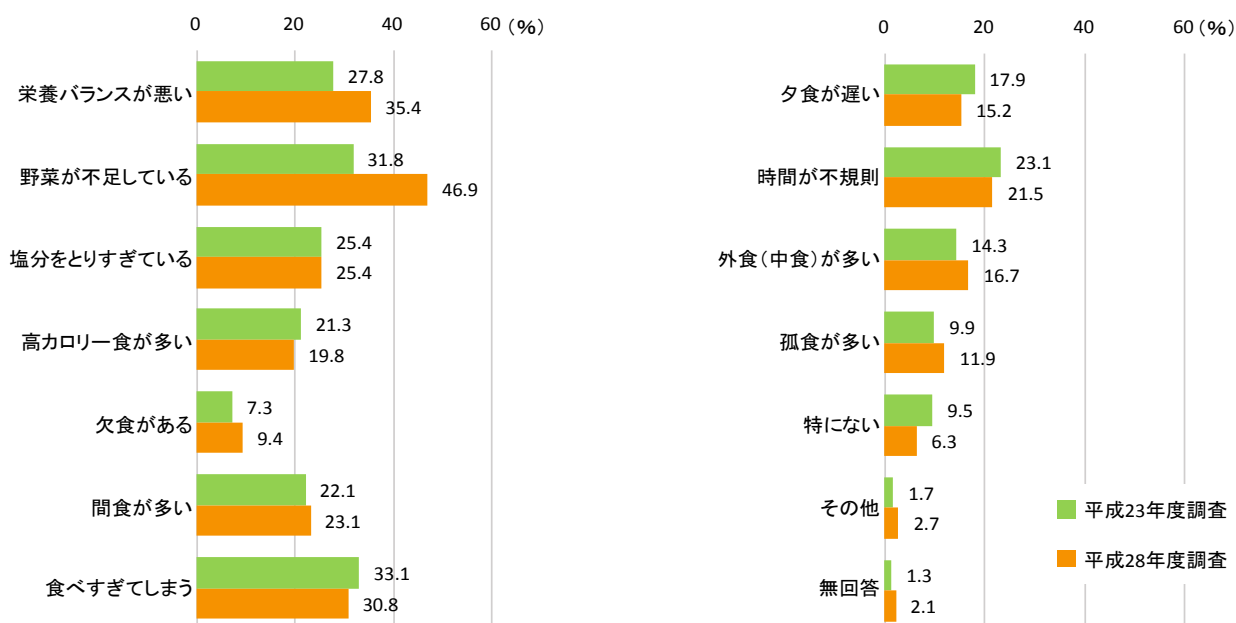
平成23年度調査と比較すると、「食品の安全・安心に関する情報提供や講習会の開催」が9.9ポイント、「市の施設での食育講座などの開催」が8.7ポイント増加しています。



◆ 食生活の問題点

食生活の問題点について、平成28年度食育アンケート調査では「野菜が不足している」の割合が46.9%と最も高く、次いで「栄養バランスが悪い」の割合が35.4%、「食べすぎてしまう」の割合が30.8%となっています。

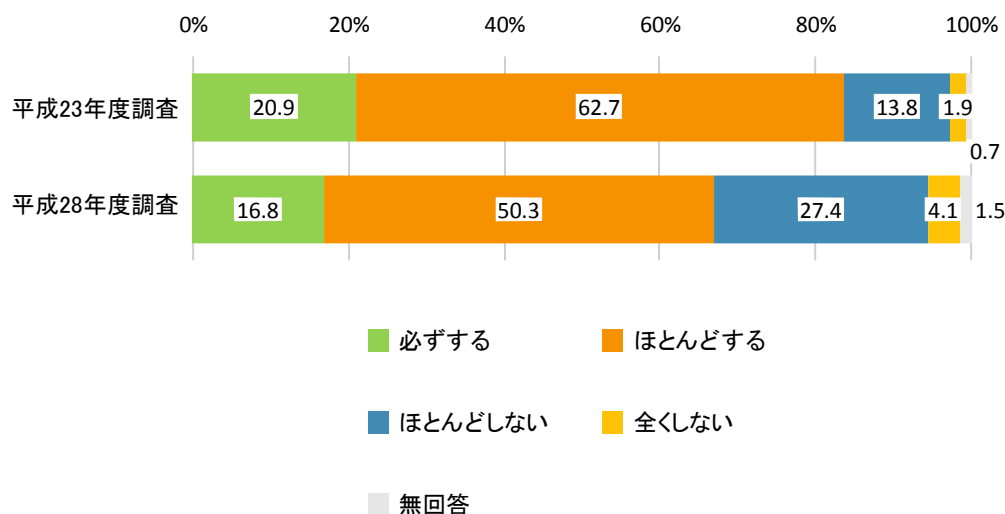
平成23年度調査と比較すると、「野菜が不足している」が15.1ポイント、「栄養バランスが悪い」が7.6ポイント増加しています。



◆ 栄養バランスへの配慮

栄養バランスへの配慮について、平成28年度食育アンケート調査では「必ずする」と「ほとんどする」をあわせた“気をつけている”の割合が67.1%、「ほとんどしない」と「全くしない」をあわせた“気をつけていない”の割合が31.5%となっています。

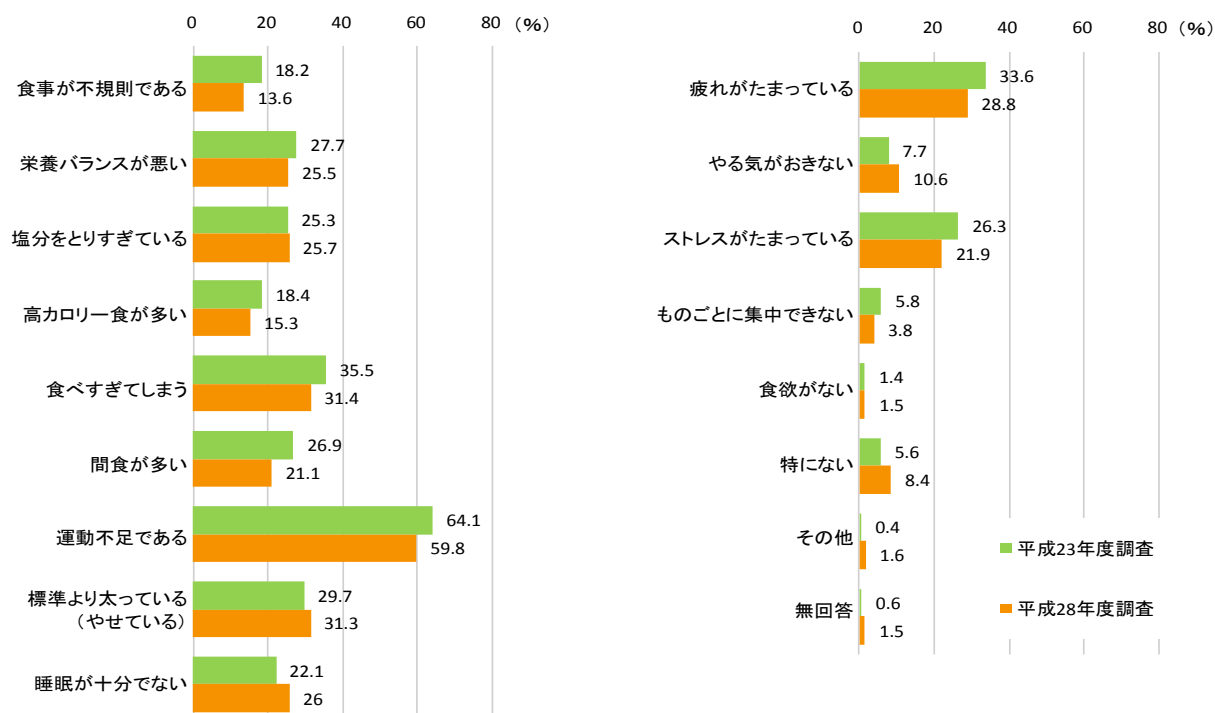
平成23年度調査と比較すると、“気をつけている”の割合が16.5ポイント減少しています。



◆ 食事、健康、体力の問題

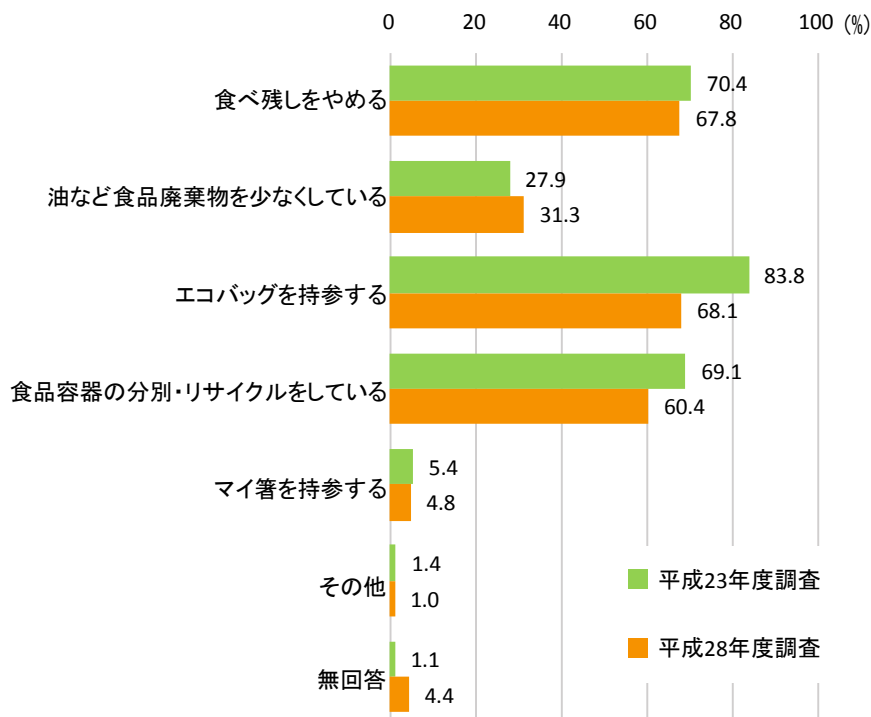
食事、健康、体力の問題について、平成28年度食育アンケート調査では「運動不足である」の割合が59.8%と最も高く、次いで「食べすぎてしまう」の割合が31.4%、「標準より太っている（やせている）」の割合が31.3%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「間食が多い」が5.8ポイント減少しています。



◆ 環境意識

環境意識について、平成28年度食育アンケート調査では「エコバッグを持参する」の割合が68.1%と最も高く、次いで「食べ残しをやめる」の割合が67.8%、「食品容器の分別・リサイクルをしている」の割合が60.4%となっています。



◆ 各食物を食べる頻度

各食物を食べる頻度について、平成28年度食育アンケート調査では「ほぼ毎日」牛乳・乳製品が52.9%と最も高く、魚類が9.3%と最も低くなっています。

平成23年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」淡色野菜が6.0ポイント減少しています。

